

第 1 3 期 事 業 報 告 書

令 和 5 年 度

令和5年 4月 1日から

令和6年 3月31日まで

公益財団法人 日 本 腎 臓 財 団
東京都千代田区九段南三丁目2番7号

目 次

I	事業の状況	P. 1
II	処務の状況	P. 8

I 事業の状況

1. 概況

- (1) 経済界、医業界の理解と関係諸学会、諸団体および一般の方々の協力を得て、総額45,199,265円の募金を行った。
- (2) 前年度に引き続き、賛助会員の増強に努めた。
- (3) 研究機関・研究グループの研究調査に対する助成、学会・研究会に対する助成、公募助成、J-DOPPS調査（日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査）、褒賞、雑誌発行、CKD（慢性腎臓病）対策推進などの事業は、順調に遂行され、事業費は総額268,686,192円を支出した。
- (4) 透析療法従事職員研修において、インターネットを使用したオンデマンド配信において集中講義を行い、また実習研修を行った。
- (5) 日本腎臓財団各賞の受賞者座談会記録を作成した。
- (6) CKD（慢性腎臓病）医療関係者に対して公募助成を行った。
- (7) J-DOPPSにおいては、第8期調査を開始した。
- (8) 雑誌「腎臓」VOL. 46を発行した。
- (9) 雑誌「腎不全を生きる」VOL. 68、VOL. 69を発行した。
- (10) ACジャパン支援キャンペーンにおいて、前年度に引き続き慢性腎臓病（CKD）啓発活動のための公共広告を展開した。
- (11) 「CKD予防のための市民公開セミナー」をオンラインで開催した。
- (12) 令和5年10月、厚生労働省、広島県などが行った臓器移植普及推進月間行事、臓器移植推進国民大会に主催として協力した。
- (13) 総事業費支出に対する助成金支出率は13.3%である。
期末基本財産は939,620,865円である。

2. 募金状況

経済界、医業界、関係諸学会、諸団体および一般の方々の協力を得て総額45,199,265円の募金を行った。

3. 賛助会員

- (1) 令和6年3月末の会員数は847会員（982口）となり、内訳は次の通りである。
 - 1) 団体A会員 医療法人又はその他の法人及び公的・準公的施設（1口50,000円）

特別会員 a（10口以上）	1 会員（ 10 口）
特別会員 b（5～9口）	3 会員（ 16 口）
一般会員（1～4口）	651 会員（697口）
 - 2) 団体B会員 法人組織でない医療施設、医局又は団体（1口25,000円）

一般会員（1～4口）	60 会員（ 73 口）
------------	--------------
 - 3) 個人会員 個人（1口10,000円）

特別会員 a（10口以上）	2 会員（ 20 口）
特別会員 b（5～9口）	5 会員（ 25 口）
一般会員（1～4口）	125 会員（141口）

(2) 令和5年4月～令和6年3月末の入会者は次の通りである。

1) 団体A会員 32会員(35口) (敬称略・順不同)

一般会員 (1～4口)

- 北海道・ 医療法人社団 朋裕会 とよた腎泌尿器科クリニック
- 北海道・ 医療法人社団 腎愛会 だてクリニック
- 岩手・ 医療法人社団 敬和会 日高見中央クリニック
- 岩手・ 社団医療法人 啓愛会 美希病院
- 宮城・ 医療法人 清水会 かわせみクリニック (団体B会員から変更)
- 宮城・ 医療法人 仁誠会 公立刈田総合病院
- 山形・ 医療法人 健友会 本間なかまちクリニック
- 福島・ 公益財団法人 ときわ会 常磐病院
- 茨城・ 医療法人社団 茨腎会 太田ネフロクリニック
- 栃木・ 佐野厚生農業協同組合連合会 佐野厚生総合病院
- 栃木・ 医療法人社団 オー・ド・ヴィー こひらメディカルクリニック
- 栃木・ 医療法人社団 深澤クリニック
- 埼玉・ 医療法人社団 協友会 彩の国東大宮メディカルセンター
- 埼玉・ 医療法人 刀水会 齋藤記念クリニック
- 埼玉・ 医療法人 桂名会 埼玉友クリニック
- 千葉・ 医療法人 緑栄会 三愛記念病院
- 千葉・ 医療法人社団 誠仁会 みはま病院
- 東京・ 医療法人社団 純真会 品川腎クリニック (団体B会員から変更)
- 神奈川・ 医療法人社団 慈友会 山田内科
- 神奈川・ 医療法人社団 三栄会 霧が丘クリニック
- 富山・ 医療法人社団 正啓会 成和病院
- 石川・ 医療法人社団 瑞穂会 こしの内科クリニック
- 岐阜・ 医療法人社団 正和会 馬淵病院
- 静岡・ 医療法人社団 泰成会 東静岡腎クリニック
- 三重・ 医療法人 尚豊会 みたき総合病院
- 大阪・ 医療法人社団 日翔会 生野愛和透析クリニック
- 大阪・ 社会医療法人 明生会 明生会クリニック
- 大阪・ 医療法人 健栄会 三康病院
- 大阪・ 医療法人 清和会 ながはら病院
- 大阪・ 医療法人 やまびこ会 腎・循環器もはらクリニック
- 大阪・ 医療法人 笠原会 笠原クリニック
- 鹿児島・ 医療法人 徳洲会 沖永良部徳洲会病院

2) 団体B会員 13会員 (21口) (敬称略・順不同)

一般会員 (1～4口)

- 岩手・ 岩手医科大学附属病院 血液浄化療法部
- 栃木・ 高橋クリニック
- 栃木・ 獨協医科大学病院 血液浄化センター
- 栃木・ ひらいで公園腎クリニック
- 埼玉・ 埼玉医科大学 腎臓内科
- 千葉・ 船越クリニック
- 東京・ 聖路加国際病院 腎臓内科
- 東京・ 東邦大学医療センター大森病院 腎センター
- 神奈川・ 橋本クリニック
- 長野・ 神應透析クリニック
- 愛知・ 名古屋大学大学院 医学系研究科 病態内科学講座 腎臓内科学
- 大阪・ 大阪公立大学大学院 医学研究科 代謝内分泌病態内科学
・ 腎臓病態内科学
- 京都・ 京都府立医科大学 腎臓内科

3) 個人会員 8会員 (17口) (敬称略・順不同)

特別会員 a (10口以上)

(1名)

一般会員 (1～4口)

- 北海道・ 布施川 尚
- 岩手・ 中屋 来哉
- 茨城・ 山縣 邦弘
- 東京・ 平山 浩一
- 東京・ 小湊 規伊
- 東京・ 安西 尚彦
- 東京・ 中村 圭太

4. 研究・学会・支援助成事業

腎臓に関する学会開催・運営、及び腎臓に関する研究会など研究団体が実施する研究・調査活動等を支援するための助成

助成審査委員会において各案件ごとに審査の上、次の研究機関、研究グループ、研究課題及び研究会、学会に対して41,393,000円の助成を行った。

(1) 研究助成 (敬称略) 9案件 31,811,000円

1) 腎疾患の発症・病態生理と進展防止に関する研究会

東京女子医科大学・新田 孝作 1,520,000円

- | | | |
|----------------------|-------------------------------------|-------------|
| 2) 腎不全研究会 | 東海大学医学部 内科学系腎内分泌代謝内科学・深川 雅史 | 1,000,000円 |
| 3) 城東地域の腎臓病の病態と治療研究会 | 医療法人社団 靱生会 メディカルプラザ篠崎駅西口・佐中 孜 | 500,000円 |
| 4) 東京腎臓病対策研究会 | 東京女子医科大学 内科学講座 腎臓内科学分野・星野 純一 | 5,900,000円 |
| 5) 電解水透析研究会 | 聖路加国際病院 腎臓内科・中山 昌明 | 2,850,000円 |
| 6) 日本女性腎臓病医の会 | 京都華頂大学 現代家政学部 食物栄養学科・武曾 惠理 | 1,033,000円 |
| 7) 兵庫慢性腎臓病対策研究会 | 兵庫医科大学 循環器・腎透析内科学・倉賀野 隆裕 | 500,000円 |
| 8) 腎泌尿器癌研究会 | 東京女子医科大学 泌尿器科・高木 敏男 | 17,500,000円 |
| 9) 高知県腎泌尿器疾患研究会 | 高知大学医学部 泌尿器科学講座・井上 啓史 | 1,008,000円 |
| (2) 学会助成 (敬称略) | 5 案件 | 9,582,000 円 |
| 1) 国際IgA腎症シンポジウム | (第17回) 順天堂大学医学部 腎臓内科・鈴木 祐介 | 7,144,000円 |
| 2) 腎と妊娠研究会学術集会 | (第33回) 奈良県立医科大学 腎臓内科学・鶴屋 和彦 | 855,000円 |
| 3) 日本腎不全看護学会学術集会・総会 | (第26回) 独立行政法人 地域医療機能推進機構 仙台病院・相澤 裕 | 585,000円 |
| 4) 日本腎不全外科研究会学術集会 | (第32回) 医療法人社団 クレド さとうクリニック・佐藤 純彦 | 523,000円 |
| 5) 日本臨床腎移植学会 | (第57回) 特定医療法人 衆済会 増子記念病院 腎臓内科・武田 朝美 | 475,000円 |

5. 公募助成事業

腎臓に関する研究と腎不全医療の発展を支援し、腎疾患の予防、腎疾患患者のQOL向上を図るため、CKD（慢性腎臓病）病態研究助成として、「腎性貧血」「腎性骨症」に対する研究助成

令和5年11月24日、Zoomを使用したオンラインにて開催した選考委員会に於いて、応募者28名のうち次の8名に対して総額5,000,000円の助成を決定した。

(敬称略)

- ・東北大学 未来科学技術共同研究センター・酸素代謝制御プロジェクト
鈴木 教郎
- ・京都府立医科大学 循環器腎臓内科 草場 哲郎
- ・自治医科大学 内科学講座 腎臓内科学部門 増田 貴博
- ・大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 奥嶋 拓樹
- ・東海大学医学部 内科学系 腎内分泌代謝内科学 駒場 大峰
- ・滋賀県立大学大学院 人間文化科学研究科・生活文化専攻・健康栄養部門・
臨床栄養学分野 辰巳 佐和子
- ・東京慈恵会医科大学 分子疫学研究部 加藤 一彦
- ・独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院 腎臓内科 山口 慧

6. 調査研究事業

腎疾患患者さんの治療の向上と普及を図るため、腎臓に関する調査研究として、J-DOPPS（日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査）第8期調査の実施

- (1) 令和5年12月にJ-DOPPS第8期調査を開始した。
- (2) 調査票の作成、倫理審査及び研究参加施設、協賛企業、Arbor Researchとの契約を行った。また、令和6年1月に全48施設にてランダム化が完了し、3月末時点で727例が調査対象となった。
- (3) 令和5年6月18日、第68回日本透析医学会学術集会・総会にてDOPPSシンポジウムを神戸ポートピアホテル「トパーズ」に於いて開催し、参加者は170名であった。
- (4) ステアリング委員会
 - 1) 令和5年6月30日、Zoomを使用したオンラインにて、J-DOPPS第8期 調査票・研究計画書及び協賛企業によるJ-DOPPS研究に関する申請について話し合った。
 - 2) 令和5年8月30日、Zoomを使用したオンラインにて、J-DOPPS CLIP 2023 募集要項、J-DOPPS研究における公表、第7期報告会の演題及び協賛企業によるJ-DOPPS研究に関する申請について話し合った。
 - 3) 令和5年10月31日、Zoomを使用したオンラインにて、倫理審査とCOI審査、第69回JSDT DOPPSシンポジウムプログラム及び協賛企業によるRQ決定後の解析計画書について話し合った。
- (5) 研究論文作成支援プロジェクト J-DOPPS CLIP
J-DOPPS CLIP 2020にて採択された4名のうち、次の3名の論文が英文誌に掲載された。

(敬称略)

- ・東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 中島 章雄
- ・昭和大学 医学部内科学講座 腎臓内科学部門 井芹 健
- ・名古屋市立大学 腎臓内科 村島 美穂

また、令和5年10月1日から12月20日までJ-DOPPS CLIP 2023の募集を行った。

(6) 令和5年11月26日、J-DOPPS第7期調査研究報告会をTKPガーデンシティ PREMIUM京橋「ホール22A」に於いて開催し、参加者は講演会59名、情報交換会43名であった。

(7) 財団ホームページにて、J-DOPPSの集計データDOPPS PRACTICE MONITOR (DPM)を公開した。

7. 透析療法従事職員研修事業

透析に携わる医療従事者に対する透析医療の基礎的な知識と技術の向上を目指すための研修の実施

(1) 令和5年8月1日～10月31日の期間中、インターネットを使用したオンデマンド配信にて、医師、看護師、准看護師、臨床工学技士、臨床検査技師、衛生検査技師、管理栄養士、栄養士、薬剤師、理学療法士を対象に集中講義を行った。実習希望者には、全国172の実習施設指定施設において、医師は35時間（1週間）、看護師、准看護師、臨床工学技士は70～140時間（2～4週間）の実習を行った。受講者総数は1,099名、そのうち実習修了者212名に対し、修了証書を交付した。

(2) 令和5年12月5日、Zoomを使用したオンラインにて透析療法従事職員研修運営委員会を開催し、令和5年度の報告と令和6年度の企画立案を行った。

8. 褒賞事業

腎臓学の研究に関する注目すべき業績に対する褒賞

(1) 令和5年10月23日、Zoomを使用したオンラインにて褒賞選考委員会を開催し、令和6年度日本腎臓財団賞・学術賞の受賞者選考を行い、次の3名の表彰を決定した。

(敬称略)

日本腎臓財団賞 伊藤 貞 嘉 (東北大学 名誉教授)

学 術 賞 西 中 村 隆 一 (熊本大学 発生医学研究所・腎臓発生分野教授)

学 術 賞 横 尾 隆 (東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科教授)

また、功労賞は次の1名の表彰を財団運営会議にて決定した。

(敬称略)

功 勞 賞 小 林 修 三 (医療法人 徳洲会 湘南鎌倉総合病院 院長)

令和6年2月22日、LEVEL XXI東京會館に於いて令和6年度日本腎臓財団賞、学術賞、功労賞の表彰を行った。

(2) 令和5年9月25日、Zoomを使用したオンラインにて令和5年度日本腎臓財団賞・学術賞・功労賞の受賞者座談会を開催し、座談会録を雑誌「腎臓」VOL.46に収録した。

9. 雑誌発行事業

(1) 雑誌「腎臓」

腎臓に関する医療者を対象として治療・研究の情報などを掲載した雑誌の発行

- 1) 雑誌「腎臓」VOL. 46を4,800部発行し、関連医療施設に無償で配布した。
- 2) 令和5年8月31日、Zoomを使用したオンラインにて編集委員会を開催し、VOL. 46及び今後の企画について話し合った。

(2) 雑誌「腎不全を生きる」

透析患者さん及びご家族の方々を対象に腎臓病に関する知識や情報、栄養・食事・クスリ・合併症等、日々の治療・生活に役立つ雑誌の発行

- 1) 雑誌「腎不全を生きる」VOL. 68を37,000部、VOL. 69を38,000部発行し、関連医療施設に無償で配布した。
- 2) 令和5年4月11日、Zoomを使用したオンラインにて編集委員会を開催し、VOL. 68及び今後の企画について話し合った。
- 3) 令和5年9月4日、Zoomを使用したオンラインにて編集委員会を開催し、VOL. 69及び今後の企画について話し合った。

10. CKD（慢性腎臓病）対策推進事業

CKDの正しい知識と予防の大切さを一般の方に広く知っていただき、CKD予防の促進を図るための事業

(1) ACジャパン支援キャンペーンにおいて、前年度に引き続き慢性腎臓病（CKD）啓発活動のための公共広告を展開した。

(2) CKDセミナー オンライン

令和6年2月24日、慢性腎臓病（CKD）についてのセミナーを『CKDセミナー「えっ！？8人に1人が…あなたも慢性腎臓病（CKD）の予備群かもしれません。」』と題し、朝日新聞社スタジオに於いてオンライン配信により開催し、1,010名の参加者を得た。

(3) 冊子作成

慢性腎臓病（CKD）予防の大切さを一般の方に広くご理解いただくための冊子「CKDをご存じですか？～腎臓を護ることは命を守ることです」を9,000部作成した。

11. 臓器移植普及推進月間活動に対する協力

移植医療について広く一般にご理解いただき、臓器移植を推進するための協力
令和5年10月、臓器移植普及推進月間の諸行事、及び10月21日、広島県民文化センターにて開かれた第24回臓器移植推進国民大会に厚生労働省、広島県、日本臓器移植ネットワーク、ひろしまドナーバンクと共に主催として協力した。

Ⅱ 処 務 の 状 況

1. 役員に関する事項

(1) 役員

令和5年5月19日現在（50音順）

会 長	高 部 豊 彦	元東日本電信電話株式会社 代表取締役社長
理 事 長	秋 澤 忠 男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 客員教授
理 事	相 京 重 信	元SMB C日興証券株式会社 会長、 橋本総業ホールディングス株式会社 社外取締役
理 事	秋 田 瑞 枝	弁護士、ひのき総合法律事務所 所長
理 事	五十嵐 隆	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 理事長
理 事	伊 藤 貞 嘉	公立刈田総合病院 特別管理者
理 事	内 山 英 世	公認会計士、朝日税理士法人 顧問
理 事	中 川 隆 進	元日本銀行政策委員会 政策委員
理 事	中 山 恒 博	東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式 会社 取締役、三井不動産株式会社 取締役
理 事	平 方 秀 樹	医療法人医心会福岡腎臓内科クリニック 理事長
理 事	平 田 純 生	I & H株式会社 学術研修部 学術顧問
理 事	前 波 輝 彦	医療法人あさお会あさおクリニック 理事長
監 事	大 塚 美智子	公認会計士、大塚公認会計士事務所 所長
監 事	原 茂 子	原プレスセンタークリニック 院長

(2) 役員会

開催年月日・場所	議 案	議 事 結 果
第35回理事会 令和5年5月19日 LEVEL XXI 東京會館 オリオンルーム (東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット 大手町ビル21階)	1. 令和4年度(自令和4年4月1日から至令和5年3月31日)事業報告及び決算報告承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	2. 評議員会の日時、場所及び目的である事項等の件	原案どおり 満場一致で可決
	3. 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程、透析療法従事職員研修運営委員会規程 一部改訂承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	4. 評議員選定委員選任の件	原案どおり 満場一致で可決
	5. 顧問選任の件	原案どおり 満場一致で可決
第36回理事会 令和5年6月6日 公益財団法人 日本腎臓財団会議室 (Zoomを使用したオンラインにて開催)	1. 代表理事並びに業務執行理事選定の件	原案どおり 満場一致で可決
第37回理事会 令和6年2月22日 LEVEL XXI 東京會館 スタールーム (東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット 大手町ビル21階)	1. 令和6年度(自令和6年4月1日から至令和7年3月31日)事業計画・正味財産増減予算書承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	2. 評議員会の日時、場所及び目的である事項等の件	原案どおり 満場一致で可決

2. 評議員に関する事項

(1) 評議員

令和5年6月6日現在（50音順）

氏名	勤務地
安藤 亮一	医療法人社団石川記念会 顧問
伊丹 儀友	医療法人友秀会伊丹腎クリニック 理事長
伊藤 秀一	横浜市立大学大学院医学研究科発生成育小児医療学 主任教授
上田 善彦	獨協医科大学 名誉教授
内田 明子	聖隷佐倉市民病院 総看護部長
大石 義英	東亜大学医療学部医療工学科 教授
鎌田 直博	特定医療法人あかね会土谷総合病院薬剤部 師長
衣笠 えり子	昭和大学横浜市北部病院内科 客員教授
小林 修三	医療法人徳洲会湘南鎌倉総合病院 院長
小林 美奈	弁護士、古賀総合法律事務所
西 慎一	医療法人社団一陽会服部病院腎臓内科 部長
西沢 邦浩	日経BP社日経BP総研メディカル・ヘルスラボ 客員研究員
新田 孝作	東京女子医科大学 名誉教授
長谷川 芳樹	弁護士、創英国際特許法律事務所 所長
深川 雅史	東海大学医学部内科学系腎内分泌代謝内科 教授
八木澤 隆	独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院 病院長
山本 裕康	東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科 教授
和田 隆志	国立大学法人 金沢大学長

(2) 評議員会

開催年月日・場所	議 案	議 事 結 果
第28回評議員会 令和5年6月6日 公益財団法人 日本腎臓財団会議室 (Zoomを使用したオンラインにて開催)	1. 令和4年度(自令和4年4月1日から至令和5年3月31日)事業報告及び決算報告承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	2. 理事・監事選任の件	原案どおり 満場一致で可決
	3. 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程 一部改訂承認の件	原案どおり 満場一致で可決
第29回評議員会 令和6年2月22日 LEVEL XXI 東京會館 スタールーム (東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット 大手町ビル21階)	1. 令和6年度(自令和6年4月1日から至令和7年3月31日)事業計画・正味財産増減予算書承認の件	原案どおり 満場一致で可決

3. 許可・認可に関する事項

該当事項なし

4. 契約に関する事項

該当事項なし

5. 登記に関する事項

令和5年7月13日、代表理事の重任登記、理事、評議員、監事の退任・就任・重任登記、会計監査人の重任登記を行った。

6. 行政庁指示に関する事項

該当事項なし

7. その他特記事項

該当事項なし

以 上

令和5年度事業報告附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。